

## 評価基準書

区分	項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
(1) 業務の理解	①実施目的、業務の理解	趣旨や実施目的を十分に理解し、仕様書で示した内容に沿った提案がなされているか。	20 (8)
(2) 業務実績及び 業務執行体制	①事業者の業務実績	催事の企画運営の実績があり、本業務の履行に必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	50 (20)
	②執行体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務執行のための人員配置及び役割分担が適切か。</li> <li>・進捗確認など公営企業局との連絡・調整がすみやかに行える体制か。</li> <li>・問題発生時の適切な対応が考慮されているか。</li> </ul>	
(3) 企画書	①実施方針 (具体性・的確性・実効性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書の業務内容について、より詳細で具体的な内容を提案し、実現性の高いものとなっているか。</li> <li>・水道・下水道に対する理解・関心を深められる内容となっているか。</li> <li>・実施目的を達成するための業務遂行へのアプローチは的確か。</li> </ul>	210 (84)
	②構成	・イベントの構成、スケジュールは集客効果や来場者の導線に着目したものであるか。	
	③会場レイアウト・回遊性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者が分散できるレイアウトになっているか。</li> <li>・サインの設置は、効果的かつ適切な配置となっているか。</li> <li>・来場者が、会場内を回りながら、水道・下水道のことを考えたり、学んだりできるよう、回遊性を高める提案があるか。</li> </ul>	
	④イベント内容	<p>【ブース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道・下水道に対する理解・関心を深められる内容となっているか。</li> <li>・来場の動機となるような魅力的で、集客力のある提案がされているか。</li> <li>・各イベント同士で相互連携がされているか。</li> <li>・ノベルティや景品は、事業 PR や集客効果が高いものか。</li> <li>・PR 動画の視聴を促す工夫がされているか。</li> </ul>	
	⑤広報	<p>【SNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な SNS の選択をしているか。</li> <li>・ターゲティングは適切か。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの魅力を効果的に伝える周知チラシの提案となっているか。</li> <li>・集客が見込める効果的な広報内容や手段の提案となっているか。</li> </ul>	
(4) 価格	令和 8 年度の履行期間の委託料の総額（消費税及び地方消費税を含む。）	{ 1 - 見積額 / 提案限度価格 } × 120 点 （小数点以下切捨て）	120
合計			400

※最低水準点は、区分単位で設定